

四日市大学留学生新聞

編集長：張 佳琪（経済 3 年）

副編集長：何 敏敏（環境情報 3 年）

編集委員：辺 莉莎（環境情報 3 年）

ヤンナインミョー（環境情報 3 年）

劉 雲梅（経済経営 2 年）

劉 麗麗（経済経営 2 年）

ディン ティ カム（経済経営 2 年）

タマング ラッキー（総合政策 2 年）

伊勢湾海洋調査実習（平成 26 年度）

今年の 7 月 23 日、集中講義で伊勢湾海洋調査に行きました。船で 2 泊 3 日です。皆で遊びながら、伊勢湾の観測もしました。私は船に乗るのが初めてで楽しみにしていましたが、1 日目は船酔いしてしまいました。なので、1 日目の観測は参加できませんでした。2 日目は元気になったので、初めて船で海の風景が見られました。風も気持ち良く、船の上で見る伊勢湾は本当にきれいでした。

4 グループに分けられ各自の観測をし、いろいろな体験をしました。主に伊勢湾の水の透明度、温度、塩分などを測ったり、自分で指示を出し、放送することもしました。夜、皆は船の上で魚釣りをしました。サバ、アジなどが釣れました。釣れた魚を焼いて、皆一緒に食べました。すごく美味しかったです。

本当に体験したことのないことばかりで、びっくりしたけれど、楽しかったです。船酔いが大変だったけど、それも含めていい思い出になったと思います。来年は、ちゃんと体調を整えてから、また行きたいです。

環境情報学部環境情報学科 3 年 孫 潔



【実習の航路】



【松阪港を出港し、いざ伊勢湾へ】



【船内案内（ブリッジにて）】



【太平洋の真ん中でラジオ体操中】



【実習終了後の記念撮影】



留学生による日本再発見の旅―第10回 Discover Japan「宗村南男留学生支援奨学金」受賞者に選ばれて、仲間と一緒に関西へ旅行することが出来て大変嬉しかったです。

2泊3日の旅は色々楽しいこともあり、もちろん知らない所へ行くと道に迷ったり、分からない事が山ほどあったりしました。しかし、それが一番よい経験になりました。

私たちの最初の行き先は、京都でした。その後は、大阪、神戸を回る旅です。

8月18日から20日にかけての旅行の初日は京都で、有名な観光地「清水寺」「金閣寺」「銀閣寺」を訪れるのが目的でした。

四日市からバスで JR 京都駅まで行って地図を見ながら、分からない事は地元の人に聞きました。それで、市バスに乗って清水寺へ行きました。バスから降りて少しは歩かなければなりません。晴れの日、真夏日でも太陽の光を浴びながら歩きました。清水寺に着いたとき、三人ともはつきりと疲れた顔をしていました。それで5分ほど休憩してから、そこにある様々な重要文化財を見学しました。そして、写真を撮ったり、随求堂胎内めぐりを体験しました。その暗闇の中はとて怖かったですが、手すりがあり、その手すりにつかまりながら進んでいくと石の上に梵字の文字が光っていました。本尊の大随求菩薩は、私たちのどんな願い求めにも、すぐ随って叶えるように働いてくださる大悲のお母さんの仏で、そのシンボル文字は梵字（古代インド・サンスクリット文字「ハラ」）であることを知り、大慈母のお腹の中へ一度戻ったような感じがしました。

また、銀閣寺の向月台の二つの砂盛と砂で作った色々な形が一番印象的です。それは、江戸時代初期に作られたといわれています。銀閣寺を訪れ終わって、金閣寺へ行きました。一日に三つの場所を訪れると体が動けなくなるほど疲れました。しかし、金閣寺の美しさが私たちを奮起させました。疲れていても私たちは写真を撮ったり、その美しさを一緒に楽しみました。

18日の夜は、京都のサンルートホテルに泊まり、次の日の朝早く起きて、2番目の目的地大阪へと向かいました。大阪城、大阪市立博物館を訪問しました。大阪城の大阪公園には安土桃山時代から江戸時代の歴史が集まっていました。色々優れた技術を見て、昔の人はとても凄いと思いました。

次に、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行き、色々なアトラクションを体験しました。短い時間でしたが、楽しかったです。なによりもスペースファンタジーに乗った時が、最も不思議な気分でした。

そして、20日は神戸に入り、神戸の南京町を見学しました。その町は、中国風の意匠が特徴で、チャイナタウンと呼ばれ、多くの中国人が住んでいました。私たちは、時間がなくて急いで走り、神戸海洋博物館に行きました。初めに、博物館の中にある色々な船を見学し、2階は展示室となっていました。そこに展示してあるヘリコプターや新幹線、オートバイなどに乗って写真を撮りました。そして、高性能ロボットをじっくり見ました。人間と比較できないほどの速さでした。そのロボットの製作者は、とても素晴らしいと感動しました。その後、赤い色が美しい神戸ポートタワーのトップで美しい景色を眺めました。

最後に、最高の日本文化を学べる機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝いたします。



ゼミ旅行

◎ 世界という本は旅行から開く

杉谷先生ゼミ生の一泊二日---in 奥伊勢 鳥羽

今回のゼミ旅行の件は事前の授業でみんなが話し合い、いくつかのポイントをあげました。

- 1、企業訪問を行い、企業はどんな人材を求めているのかを把握し、今後の就職活動のために役立てる。
- 2、日程は一泊二日。
- 3、奥伊勢の景色を満喫しながらゼミ生同士の多文化交流（日本、ベトナム、中国）を楽しむ！

さっそく私と一緒に楽しい一泊二日の旅行を出掛けましょう！

朝早く電車で移動し、指定の駅でみんなと合流しました。運転手は杉谷先生です。ゼミ生のみんなと約一か月ぶりに会い、楽しくていろいろ話をしました。奥伊勢にはお昼頃に着き、夜のＢＢＱのために買い物をし、その後、宮川ダムに観光に行きました。夜はみんなでＢＢＱと花火をやりました。夏と言えばやっぱり花火ですね。みんな楽しんでいました。二日目、今日の目的地は鳥羽にあるミキモト真珠島です。ミキモト真珠島は、なんと鳥羽湾内に浮かぶ一つの小島すべてが株式会社御木本真珠島になっています。様々な色や大きさの真珠、貝殻と真珠で造った工芸品など、どれも素敵なお品ばかりでした。1951年に開島し、以来国内外から多くのお客様をお迎えしています。約7000坪の島内には、真珠のすべてがわかる真珠博物館をはじめ、真珠王と呼ばれた御木本幸吉の生涯を紹介する御木本幸吉記念館、パールプラザ（ショップ&レストラン）などが点在する他、昔ながらの白い磯着姿の海女が繰り広げる潜水実演などを見学できます。ガイドさんの親切な話で養殖真珠と天然真珠は一緒の価値を持っていることを初めて知りました。株式会社御木本真珠島は外国人留学生の就職を支援し、企業側も私たちの質問について丁寧に答えてくれました。

三重県にはまだまだ私の知らない素晴らしい所がたくさんあると感じました。一泊二日という短い時間でしたが、とても充実した楽しい旅行ができました。

経済学部経済学科3年 劉 静



◎ 「憶古」の旅

鶴田先生ゼミ生の一泊二日---in 奈良 姫路 神戸

今回のゼミ研修旅行も毎年の様に楽しかったです。いろいろなところに行ってもっとも印象に残っているのは日本の旧都である奈良でした。奈良の東大寺にはとても大きな仏像があります。いわゆる奈良の大仏です。正式名称は「東大寺盧遮那仏」。世界最古、最大級の鋳造物として名高いこの大仏はその当時、疫病、飢饉等で不安定な状態にあった日本、当時の名で倭の国元の平和な状態になるよう願いを込めて建造したものです。実際に見てみると、予想していた大きさよりもはるかに巨大なその姿に驚きました。その大きさ、威厳は、さながら当時の人々の思いや願いの大きさ、そして強さを表現しているように思えました。250万人程で7日程度費やし、やっとの思いで仕上げた時、人々はさぞかし達成感に満ちた状態だったのだらうと思います。そして時を超えて、今、この大仏の目に現在の日本、世界はどう映っているのでしょうか。

経済学部経済学科3年 呉 代兄

ゼミ活動



鶴田先生ゼミ——「四日市市商店街の町づくり」

私たちのゼミは「四日市市商店街の町づくり」に関わる活動をしました。学生の目を通して、商店街の現状や問題を考えて、新しいアイデアを出すことが目的です。最初の第一回は、私たちは商店街を歩いて回り、私たちから見た現在の商店街の問題を記録しました。昔の商店街と現在の商店街を比べると、人気度が全然違います。なぜなら、時代の変化に伴って様々な問題が出てきたからです。周りの環境問題や商店街が古いことや魅力的な商品がないなど問題点を考えて発表しました。また、何回も何回も、商店街に行って、経営者と話したり、アンケートを取ったりをしました。大学に戻って、わたしたちは三つのグループに分かれました。一つは、高齢化問題に対して健康器具を設置しようというチームです。もう一つは、商店街の環境問題について、ゴミ箱の設置や清掃活動を提案したチームです。最後は、コスプレを利用して人を集めて、特色ある町を作る私のイベントチームです。

そして、商店街の現状を見て、私たちが考えた提案を学校と商店街でも発表させていただきました。もちろん、その通り実施されるかどうかは、分かりません。しかし、商店街がもう一度盛り上がるために、頑張って一生懸命に考えた提案です。私たち学生がこれから先もずっとこのような活動をつづけていけば、きっといつか商店街がもう一度元気になると思います。

活動を通して、街の理解が深くなっただけでなく、メンバーとのコミュニケーションの取り方、お互いの協力体制が上手くなった様に思います。これは大学の教室では学べないことでした。この経験は、人生の宝物になりました。

経済学部経済学科 3 年 張 佳琪



四日市よさこい祭りのCOS (2013 年 11 月 24 日)

充実した夏休み



一年生の夏休み



私は1年生の紅英と申します。中国の内モンゴルから来ました。

今度の夏休みは私が四日市大学に入ってから初めてです。日本語学校の時は、夏休みが2週間だけで、どこも行かずアルバイトを目一杯入れていました。アルバイトだけの大変忙しい夏休みでした。

大学に入学して、とても夏休みを楽しみにしていたのです。仲の良い友達と遠出して、日本の国内に旅行に行こうと約束しましたが、友達は用事があって行けませんでした。ですから、私はまた長期休暇を使ってアルバイトをしました。

しかし、夏休みはたくさん時間があります。アルバイトだけでは日本語学校の時、と同じだと思い、また遠出できなくても、一回遊びに行こうと2年生の先輩と長島スパランドに行きました。とても楽しい一日でした。

大学時代の夏休み、約2ヶ月間は長いですが、何か目的があれば短いですが、何も目的がなければただただ長いです。これが私の大学の最初の夏休みでした。

大学生活を無駄にしないために有意義に過ごすことが大切で、勉強やアルバイトも大事ですが、たくさん遊ぶことも大切なことだと思います。

経済学部経済経営学科1年 紅 英



ボランティア活動

私は今年の夏休み、学校の社会連携センターのご紹介で障がい者と自閉症者の方々ボランティア活動に3回参加しました。以前、ボランティアに参加したことがありますが、不安感がありました。

事前の説明会で障がいがある子供、自閉症児の活動であることを知らされました。一日目、四日市総合会館で子供達と一緒にスーパーに行って、材料を買って、ランチを作りました。それから、昼ごはんを食べて、午後一緒に遊びました。二日目、津まで行きました。自閉症の子供たちと一日過ごししました。三日目、まだ四日市総合会館で活動を行いました。午前中、子供たちと楽器を作って、昼ごはんを食べました。午後は、作った楽器を使って、音楽の先生と音楽の授業をしました。みんな一緒にたくさんの歌を歌いましたが、一番好きな歌はアナと雪の女王です。この曲が流れたら子供たちは踊ったり、歌を歌ったり、とても楽しそうでした。

このボランティア活動に参加でき、とても良かったです。ボランティアに行く前は、とても不安で心配でした。でも、どうやって子供と遊ぶのかだけではなく、どうやって障がいのある方とコミュニケーションをとればよいのか少しわかってきました。私の人生にとって、とても役に立つと思います。これから、もしこのようなチャンスがあれば、また参加したいし、がんばりたいです。



経済学部経済経営学科2年 劉 麗麗

学生時代のイベント



☆ 暁高校文化祭(2014 年)

私は暁高校で文化祭に参加し、ミャンマーの文化を紹介する機会がありました。暁高校の文化祭では毎年国際交流部との合同ブースで展示会を行っています。私は、今年 9 月 18 日、19 日の 2 日間にかけて母国の文化を紹介する展示会をしました。展示会では母国語挨拶や曜日など、お祝いの席で使う打楽器や小学校の国語教科書、通貨、母国の料理写真、観光地の案内写真、雑誌などを並べて、ミャンマーのことを知ってもらいました。そして、ミャンマー民族衣装試着コーナー、ミャンマーのココナッツジュースを販売しました。

初日は、いろいろ準備や、設置ことで、疲れ切りましたが、笑顔で手伝いに来てくれた皆さんのおかげで、無事に終了しました。私は明るい高校生達の姿を見て、数年前の自分自身の高校時代の姿を思い出しました。

今まで一度も考えたことがなかった国際交流ができ、コミュニケーションを上手にできる人になりたいと思いました。私のことやミャンマーの文化がテレビや新聞で報道されたので、嬉しかったです。しかし、初日のせいか、高校生の皆さんにあまり来てもらえなかったので残念でした。

2 日目は一転して、展示会に多くの高校生達がよって来ました。ミャンマーのお菓子や料理の中で皆が気になるものはタコ焼のような「モッリンマヤー」でした。作り方は同じですが、中身はタコの代わりにエンドウ豆です。「モッリンマヤー」ではミャンマーで子供達に大人気なものです。塩味で、コクがあり、甘くて美味しいです。その日に来てくれた先輩と私は文化祭会場を見に回って、お菓子を買って食べたりしました。みんな作ったお菓子はそれぞれ美味しく、楽しかったです。私は、観光地がたくさんあるミャンマーのことを日本だけではなく、世界の人々に届けるよう、お互いの文化交流をしたいと思います。

環境情報学部環境情報学科 3 年 ヤンナインミョー

☆ 大学祭のお知らせ

お待たせしています。2014 年度四日市大学・四日市看護医療大学合同大学祭「よんよん祭」は 10 月 25 日(土)、26 日(日)四日市大学で開催します。

内容： 留学生会の中国・ベトナム料理の模擬店
ゼミなどの模擬店
ステージ企画
コスプレ大会
カラオケ大会
ジャンケン大会
くじ引き、
展示、舞台発表など



四日市大学は、中国・ベトナム・ネパール・ミャンマーなど 7 カ国からの留学生がいます。そこで、国際交流ができます。ぜひ、四日市大学、四日市看護医療大学 合同大学祭「よんよん祭」ご参加ください。地域の方のご参加也大歓迎です！是非、お越し下さい。

経済学部経済経営学科 2 年 劉 雲梅

卒業後の進路...(part 1)

卒業おめでとう

就職活動



社会と会社

三年生の私は、授業があまりないので一週間に一回に学校に行きます、その代わりに、卒論の準備と就職活動で忙しさと緊張感がだんだん増えています。自分の将来に不安があり、先輩や先生に相談したら「早く仕事を探したほうがいいよ」とアドバイスをもらったので、7月に会社の説明会に参加しました。

夏であり、スーツを着て、お昼一番暑い時電車に乗り、大変！というより心がもっと熱い！（会社の名前は「物語コーポレーション」）会社説明会は簡単に言うと、この会社の人材開発部の担当者の方から会社をご紹介頂くだけではなく、授業の様なことが行われました。担当者の方から質問がありました。質問は簡単な常識で、例えば私の場合は、日本の有名な牛井屋さん三つと 2012 年から赤字、黒字になっている日本産業及びその理由でした。完璧に答えられたら、当然注目されるし、かつこよかったでしょう。ある会社は「教養セミナー」という日程があります、もちろん参加したほうがいいと思います

8 月には、企業見学会に参加しました。場所は本社がある豊橋でした。行く前に、会社の理念や発展などの会社概要を勉強しておきました。また、担当者の方への質問を準備しておいたほうがいいかもしれません。

9 月に一番重要なことは面接です。面接官との 1 対 1 の形式で行なわれます。性格適性検査という試験があり（ある会社は SPI 試験）、内容は様々な事情、環境の対処の方法や自己分析、自己判断など、問題量数は 50 問、時間は 20 分ぐらいなどです。あとは質問と答え。留学生は日本人より自立し、責任感があると思います。言いすぎるとよくないですが、自分のメリットを話し、できるだけ自然に自分の言葉で話すのが一番いいと思います。

最後に、一番心に残った問題を紹介します。(1) 自分の夢のメリットとデメリット (2) 自分の独立とは？ その理由 (3) 貴方は社員になったら会社で何ができるか (4) リーダーと物語コーポレーションは何？ (5) 会社はただお金を稼ぐ場所じゃない、貴方にとって働く意味は何？

経済学部経済学科 3 年 李 鵬飛

クイズコーナー

クイズ少女です。皆さん、前回の問題はまだ覚えていますか？

答えは、毎月 22 日は「ショートケーキの日」です。ヒントはカレンダー見てみてください。上にイチゴ（15 日）が乗っているからです。

では、今回のクイズを始めましょう。

★に入る文字は何でしょう？

柿＝傘

星＝端

足＝飯

西＝★



答えは次の新聞に載せます。楽しみにしてください。



卒業後の進路…(part 2)

留学生卒業後の進路のアドバイス

現在3年生と4年生の留学生の皆さんは、進路を決定しましたか？日本に就職すること、大学院に進学すること、帰国すること、三つの進路になると思います。

日本に就職したい留学生の皆さんは、就職の強みとなり得る事には、次のようなものがあります。

1. 自分の母語に加えて、複数言語ができることをアピールできる。
2. 語学力や異文化コミュニケーション能力の高さをアピールできる。
3. 母語のネイティブ・スピーカーを求めている企業がある。

また、留学生は日本の企業の面接を受ける前、「学生時代にもっとも一生懸命打ち込んだこと」や「自分の長所とそれを裏付けるような学生時代の具体的なエピソード」など以外に、留学生の特別な質問も準備したほうが良いと思います。例えば、「日本に留学した理由」「日本に留学した経験を、今後どのように活かしたいか」などです。

大学院に進学したい留学生は進学したい大学院の教授と面接する前、必ず以下の四つの質問の答えを準備してください。

1. 自己紹介(現在の大学生活の状況も加える)
2. 専攻を選んだ理由
3. 大学院卒業後の進路
4. 研究計画書の書き方

今、ラスト・スパートの時期です。みんな一緒に頑張りましょう！

環境情報学部環境情報学科3年 辺 莉莎

平成26年度私費外国人留学生奨学金

留学生を対象とした奨学金が、今年度も給付されました。受給者の皆さん、おめでとうございます。

※文部科学省外国人留学生学習奨励費（日本学生支援機構）

平成26年度受給者（1年間）7名

平成26年度後期受給者（6ヶ月間）3名

※三重県私費外国人留学生奨学金(三重県)平成26年度合格者

チョウ カキ（経済学科3年）

リュウ セン（経営学科3年）

※国際ソロプチミスト三重奨学金（国際ソロプチミスト三重）

ソン タン（総合政策学科3年）

※第10回留学生による日本再発見の旅—宗村南男留学生奨学金「Discover Japan」

ヒマラ クマリ タマン（環境情報学科2年）

シムカダ メヌカ（経済経営学科1年）

ギミレ スニタ（総合政策学科1年）



国際ソロプチミスト三重奨学金